

事例

ゼンブ イニシアティブ
「ZENB initiative」を通じた、食にまつわる環境意識や健康意識を高める活動
～植物を可能な限りまるごといただく～
(第5回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞)

ミツカン ホールディングス
株式会社 Mizkan Holdings (東京都)

株式会社 Mizkan Holdings では、「人と社会と地球の健康」、「新しいおいしさで変えていく社会」を、様々な分野の人々と共に実現していくための取組として、「おいしさ」、「健康」、「サステナビリティ」の3つの視点で食の未来を考える活動「ZENB initiative」を平成30(2018)年11月から実施しています。

令和元(2019)年には他の企業と連携し、「フードロスを減らすには?～10代と考える10年後の食の未来～」をテーマとした中学生・高校生向けのワークショップを実施しました。ワークショップでは、野菜の皮や芯まで丸ごと食べられる商品を紹介し、商品をヒットさせるための方法を皆で考えるなど、若い世代に対し、食における環境負荷の低減という視点を提示しました。令和3(2021)年には大学等との協働で同商品を使ったスイーツ作りを紹介する動画を配信し、食品ロスに対する意識改善を図りました。

また、野菜の捨てられている部分には栄養があることについて、ビジュアルやオブジェという分かりやすい形で提示する「野菜とデザイン」展をギャラリーで開催したり、食事管理アプリを運営する企業と共同して食生活改善プログラムを作成したりするなど、幅広い世代に向けた取組も実施しています。

今後も、人と社会と地球の健康につながる食生活の実現を目指し、取組を続けていきます。



中学生・高校生向けのワークショップ



「野菜とデザイン」展